



下北圏域定住自立圏
中心市宣言書



平成27年7月15日

むつ市

中心市宣言

むつ市は、青森県の最北部、本州最北端の下北半島に位置し、藩政時代には南部藩の代官所が置かれ、下北地方の要衝として栄えてきました。

昭和34年9月1日に「大湊田名部市」として、県内8番目となる市制を施行し、翌年8月1日に全国初のひらがなの市「むつ市」に改称しました。

さらに、平成17年3月14日には、川内町、大畑町、脇野沢村が合併し、県内最大の行政面積を有する新「むつ市」がスタートしました。

古くから関係を深めてきた近隣自治体とは、一部事務組合や広域連携により、医療、消防、福祉、教育、観光、環境などの幅広い分野において、相互に連携しながら地域の発展を推進してきており、また、交通インフラの整備・充実などにより、通勤・通学、医療、買物などの日常生活面で広域的な結びつきを強めてきました。

現在、我が国では、人口減少時代を迎え、特に地方圏においては、少子・高齢化、都市部への人口流出などが進み、医療や福祉などの行政サービス水準の維持に支障をきたすなど極めて厳しい状況となっているとともに、近年の地方自治体の財政事情などを踏まえれば、いかに持続可能な地域社会を形成していくかが、地域全体を維持する上で重要な課題となっています。

このような背景から、むつ市は、これまで培われてきた近隣自治体との連携と協力関係を尊重しつつ、全体として魅力あふれる地域を目指し、「下北圏域定住自立圏」の形成を目指すものであります。

さらに、本圏域における「三本の柱」として、圏域の中核病院であるむつ総合病院の充実を図ることによる地域医療体制の強化、広大な圏域と圏域外をつなぐ下北半島縦貫道路をはじめとした道路基盤整備の充実を図ることによる地域公共交通整備の強化、多様な地域資源を有する圏域の特性を活かした、下北ジオパーク構想の実現と観光地域づくりプラットフォームをはじめとした受け入れ体制の整備を図ることによる交流人口の拡大を推進します。

むつ市はここに、圏域住民8万人の未来のため、強いリーダーシップをもって、圏域の将来について全力を尽くすことを誓い、定住自立圏構想の「中心市」となることを宣言するものであります。

平成27年7月15日

むつ市長 宮下 宗一郎

1 むつ市における都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能、中核的な医療機能、大規模商業・娯楽機能、その他行政及び民間分野における都市機能の集積状況は、概ね以下のとおりであり、定住自立圏を形成する中心地域としての都市機能を有しています。

| 分野 | 都市機能 | 機関・施設名等 |
|----|----------|---|
| 医療 | 公的医療機関 | むつ総合病院、むつリハビリテーション病院、国民健康保険川内診療所、国民健康保険大畑診療所、国民健康保険脇野沢診療所 |
| | 初期救急医療機関 | 休日夜間当番医（休日夜間のみ） ※市内の開業医・診療所 20 機関により休日の夜間在宅当番医制で実施しております。 |
| | 二次救急医療機関 | むつ総合病院 |
| | 民間医療機関 | 診療所 20、歯科診療所 18 |
| 福祉 | 老人福祉施設等 | 特別養護老人ホーム 8、養護老人ホーム 1、介護老人保健施設 3、介護療養型医療施設 1、デイサービスセンター 16、認知症対応型グループホーム 7 ほか |
| | 障害者福祉施設等 | 障害児入所施設はまゆり学園、障害者支援施設 3、障害福祉サービス事業所 16、共同生活援助事業所 4、居宅介護等事業所 16 ほか |
| | 児童福祉施設等 | 保育所 15、児童館 3 ほか |
| 教育 | 高等学校 | 青森県立田名部高等学校、青森県立大湊高等学校、青森県立大湊高等学校川内校舎、青森県立むつ工業高等学校 |
| | 中学校 | むつ市立田名部中学校、むつ市立むつ中学校、むつ市立関根中学校、むつ市立近川中学校、むつ市立大平中学校、むつ市立大湊中学校、むつ市立川内中学校、むつ市立大畑中学校、むつ市立脇野沢中学校 |
| | 小学校 | むつ市立第一田名部小学校、むつ市立第二田名部小学校、むつ市立苦生小学校、むつ市立第三田名部小学校、むつ市立奥内小学校、むつ市立関根小学校、むつ市立大平小学校、むつ市立大湊小学校、むつ市立川内小学校、むつ市立大畑小学校、むつ市立二枚橋小学校、むつ市立正津川小学校、むつ市立脇野沢小学校 |
| | 幼稚園 | 幼稚園 8 |
| | 教育研修機関 | むつ市教育研修センター |

| | | |
|--------------------|-------------------|--|
| 社会教育 文化 スポーツ | 社会教育・ 文化施設等 | 下北文化会館、むつ市立図書館、むつ市みどりのさきもり館、むつ市文化財収蔵庫、むつ市中央公民館、むつ市川内公民館、むつ市大畑公民館、むつ市脇野沢公民館、むつ市海と森ふれあい体験館、むつ市下北自然の家 ほか |
| | スポーツ施設 | むつ運動公園、むつ市ウェルネスパーク、むつ市かまふせビレッジ、むつ市釜臥山スキー場、むつ市於法岳スキー場、むつ市川内体育館、むつ市大畑体育館、むつ市兔沢スキー場、大畑中央公園、むつ市ふれあいスポーツパーク、むつ市脇野沢総合運動場 ほか |
| 観光 | 観光施設 | 恐山、釜臥山展望台、北の防人安渡館、北の防人海望館、むつ市早掛レイクサイドヒルキャンプ場、むつ市ふれあい温泉川内、むつ市湯野川温泉濃々園、むつ市薬研野営場、奥薬研修景公園、道の駅わきのさわ「リフレッシュセンター鱒の里」、むつ市脇野沢温泉、むつ市脇野沢野猿公苑、むつ市愛宕山公園、むつ市マリンハウス脇野沢、むつ市脇野沢海づり公園、むつ市観光物産館、むつ来さまい館、むつ市陶芸センター、むつ市大畑木材工芸センター、むつ市脇野沢いのししの館、かわうち・まりん・びーち、道の駅「かわうち湖」レイクサイドパーク ほか |
| 消防 | 消防署等 | 下北地域広域行政事務組合消防本部、むつ消防署、大湊消防署、むつ消防署川内消防分署、むつ消防署脇野沢消防分署、大畑消防署 |
| 環境 | 一般廃棄物 処理施設 | 下北地域一般廃棄物等処理施設アックス・グリーン |
| | し尿・浄化槽汚泥等 処理施設 | 汚泥再生処理施設むつ衛生センター |
| 交通 | 鉄道 | JR 大湊線（大湊駅、下北駅、赤川駅、金谷沢駅、近川駅） |
| | 路線バス | 下北交通株式会社、有限会社脇野沢交通、有限会社むつ車体工業、JR バス東北大湊営業所 |
| | 観光船・フェリー | むつ市観光遊覧船「夢の平成号」、むつ湾フェリー「かもしか」、シィライン・高速船「ポーラスター」 |
| | 国道 | 国道 279 号、国道 338 号（国道 394 号との重複区間有） |
| 金融 | 銀行等 | 青森銀行、みちのく銀行、青い森信用金庫、青森県信用組合、東北労働金庫むつ支店、十和田おいらせ農業協同組合むつ支店、郵便局 13、簡易郵便局 2 |
| 商業 | 大規模小売店舗 | 店舗床面積 1,000 m ² 以上の店舗 16 店舗 （うち 10,000 m ² 以上の店舗 1 店舗） |

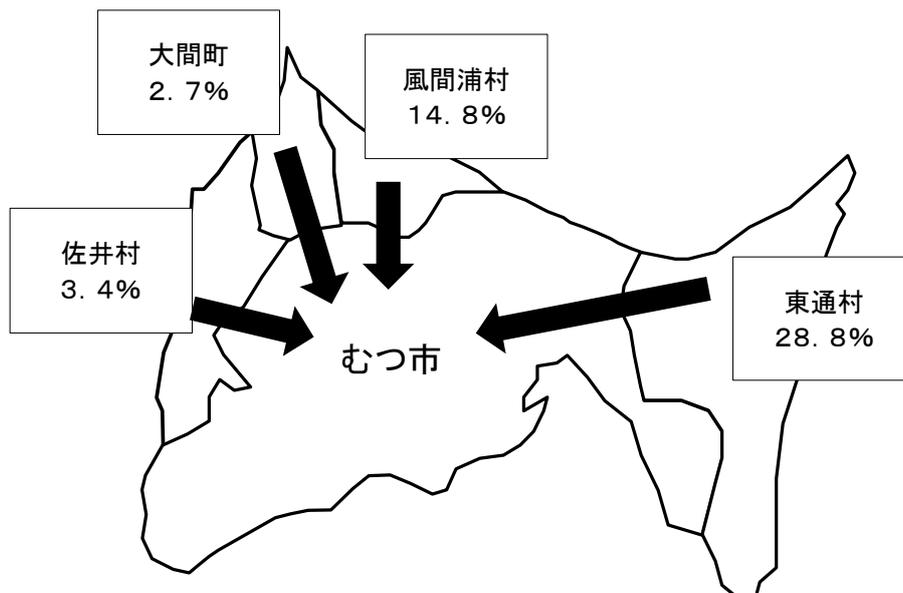
| | |
|------------------|---|
| <p>国・県の出先機関等</p> | <p>【国】青森地方法務局むつ支局、下北森林管理署、むつ年金事務所、日本原子力研究開発機構むつ事業所、海洋研究開発機構むつ研究所、むつ簡易裁判所、青森家庭裁判所むつ出張所、むつ区検察庁、むつ公共職業安定所、むつ税務署、むつ労働基準監督署、海上自衛隊大湊地方隊、航空自衛隊大湊分屯基地 ほか</p> <p>【県】下北地域県民局、下北教育事務所、むつ警察署、青森県産業技術センター下北ブランド研究所、むつ高等技術専門学校 ほか</p> |
|------------------|---|

2 むつ市の都市機能の近隣市町村における利用状況

以下のとおり、通勤・通学、医療、商業など、日常生活において、むつ市に集積されている都市機能が近隣にある町村の住民によって利用されています。

◆通勤・通学者状況

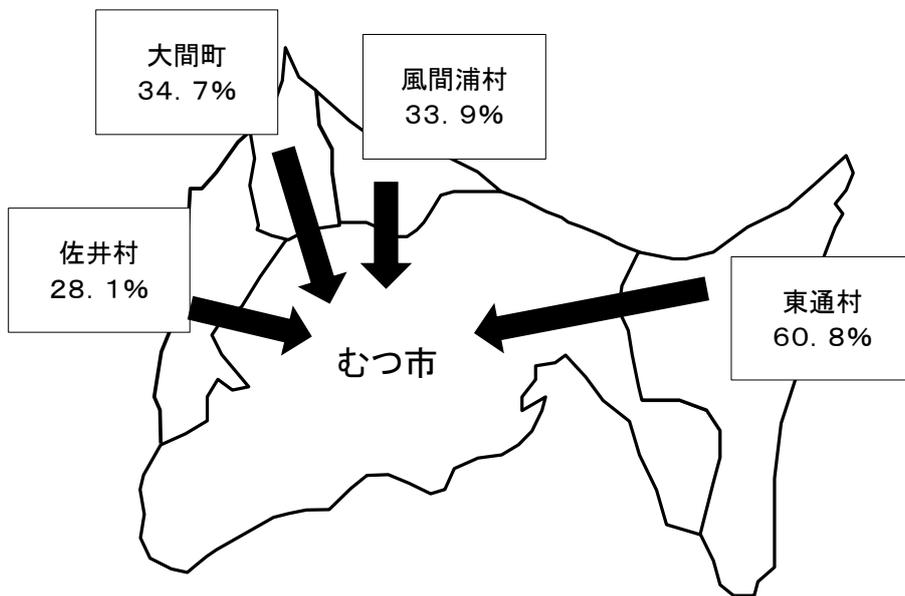
図 むつ市への通勤通学率



～資料：平成22年度国勢調査～

◆医療機能

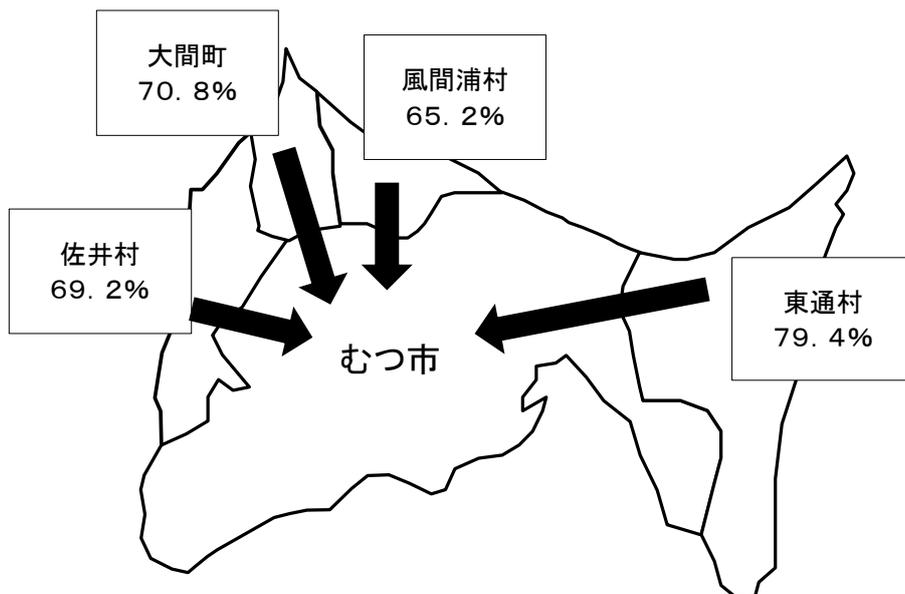
図 むつ市内の医療機関への入院患者の依存率



～資料：平成25年4月青森県保健医療計画～

◆商業機能

図 むつ市への消費者購買実態 買回吸収率



～資料：平成18年度消費購買動向による商圈調査報告書～

3 圏域で連携が想定される取組

むつ市が中心市として、圏域に居住する住民の生活機能を確保し、地域の魅力を向上させていくため、現在、近隣自治体と連携することを想定している取組は次のとおりです。

なお、今後さらに連携する取組については、「集約とネットワーク」の考え方を基本として、近隣自治体の意向に十分配慮しながら決定します。

ア 生活機能の強化

①医療

- ・安全で安心な生活を確保するため、医師の確保や医療の提供、休日夜間診療体制等の地域医療体制の充実を推進する。

②福祉

- ・介護福祉や障害福祉の充実を図るため、認定審査会等の共同設置及び運営を推進する。
- ・障害を有する児童を支援するため、障害児入所施設等の共同設置及び運営を推進する。

③教育

- ・教育水準の向上及び教育環境の充実を図るため、教育研修センター等の共同設置及び運営を推進する。

④観光振興

- ・圏域の特性や観光資源を生かした広域観光の企画、実施、観光振興、誘客等に関する取組について連携して推進する。

⑤消防

- ・消防及び救急体制の充実を図るため、消防本部等の共同設置及び運営を推進する。

⑥環境

- ・一般廃棄物等処理体制の充実を図るため、一般廃棄物等処理施設等の共同設置及び運営を推進する。
- ・し尿及び浄化槽汚泥等処理体制の充実を図るため、し尿及び浄化槽等汚泥処理施設等の共同設置及び運営を推進する。

⑦その他

- ・圏域住民の芸術文化の向上及び交流の場を提供するため、複合文化施設等の共同設置及び運営を推進する。
- ・圏域内の消費生活の安全及び安心の確保を図るため、消費生活センター等の共同設置及び運営を推進する。
- ・豊かな農林業環境の維持のため、有害鳥獣等の被害対策に関する取組について連携して推進する。

イ 結びつきやネットワークの強化

①地域公共交通

- ・生活交通手段を維持及び確保するため、公共交通ネットワークの強化及び活性化を図る取組について連携して推進する。

②デジタルディバイドの解消へ向けたICTインフラの整備

- ・情報ネットワークの強化を図る取組について連携して推進する。

ウ 圏域マネジメント能力の強化

①圏域市町村の職員等の交流

- ・圏域内の市町村職員の育成を図るため、合同研修等の人材育成に関する取組について連携して推進する。

4 むつ市への通勤通学割合が0.1以上である市町村

東通村 (0.288) 風間浦村 (0.148)

5 上記4のほか、むつ市と連携する意思を有する市町村

大間町、佐井村